

国民体育大会広島県一次予選

2022年5月7日（土）、三次市営球場にて国民体育大会広島県一次予選が行われました。

初戦は、アポロ（西部地区代表）と対戦をしました。

試合は2回、平・橋本のヒット等でチャンスメイクすると、エラーや竹元のタイムリー2ベースヒットなどで4点を先制しました。

その後も攻撃の手を緩めることなく気付けば、11安打16得点の猛攻で初戦を勝利しました。

続く2試合目では、昨年の国体でも悔しい負けを喫している広島ガス（シードチーム）との対戦となりました。

この試合も2回に動きを見せました。

ヒットと死球で2アウト満塁のチャンスを作り出すと、そこから竹元・武田・島袋の3連打が飛び出して4点を先制しました。

また続く回にも、宮本のタイムリーヒットで得点を重ねて試合を優位に進めました。

しかし、6回に2点を返され迎えた終盤8回。

1点を失い、なおも一打出れば同点というピンチで平がマウンドに上がると、後続をきっちり抑え相手に流れを渡しませんでした。

9回も続投した平が無失点に抑え、5 - 3で見事に勝利を飾りました。

以上の結果一次予選を突破し、5月28日（土）・29日（日）に行われる広島県二次予選へと駒を進めました。

引き続きご声援のほど、よろしく申し上げます。

結果

5月7日（土）

対 アポロ（西部地区代表） 16 - 1 ○

	1	2	3	4	5	6	7	合計
アポロ	0	0	0	0	0	1	0	1
小泉病院	0	4	1	2	0	9	×	16

（7回コールド）

バッテリー：延近（1-5回）・元川（6-7回） - 橋本

2塁打：竹元（2回） 3塁打：橋本（3回）・竹元（6回）

対 広島ガス（シードチーム） 5 - 3 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
小泉病院	0	4	1	0	0	0	0	0	0	5
広島ガス	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3

バッテリー：笹川（1-7回1/3）・平（8回途中-9回） - 竹元

◎ フォトギャラリー



👉 持ち味を存分に発揮する武田選手（背番号 2 捕手・内野手）



👉 広ガス戦、全打席出塁の活躍を見せた宮本選手（背番号 10 外野手）



👉公式戦で久々の登板となった元川選手（背番号21 投手・内・外野手）



👉マルチ安打の活躍、福島選手（背番号5 内野手）



👉タイムリーヒットを放つなど活躍した島袋選手（背番号3 外野手）



👉毎試合安定した投球を披露する延近選手（背番号16 投手）